

令和3年度

# 決算報告書

第18期事業年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

国立大学法人三重大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人三重大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,370	11,479	109	(注1)
施設整備費補助金	925	925	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,089	3,279	2,190	(注2)(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	25	25	-	
自己収入	30,212	29,891	△ 321	
授業料、入学科及び検定料収入	4,255	3,953	△ 302	(注4)
附属病院収入	25,200	25,311	111	(注5)
財産処分収入	4	6	2	(注6)
雑収入	753	621	△ 132	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,713	3,007	294	(注8)
引当金取崩	-	21	21	
長期借入金	818	818	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
目的積立金取崩	980	1,148	168	(注9)
計	48,132	50,593	2,461	
支出				
業務費	40,820	39,653	△ 1,167	
教育研究経費	15,202	15,035	△ 167	(注10)
診療経費	25,618	24,618	△ 1,000	(注11)
施設整備費	1,768	1,759	△ 9	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	881	3,059	2,178	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,713	2,555	△ 158	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,950	1,880	△ 70	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	48,132	48,906	774	
収入-支出	-	1,687	1,687	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階での見積りより、特殊要因経費(退職手当)及び授業料免除実施経費の追加交付等のため、予算金額に比して決算金額が109百万円多額となっています。

(注2) 補助金等収入については、予算段階での見積りより補助金採択件数が多かったため、予算金額に比して決算金額が2,190百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入には、授業料等減免交付金が220百円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しています。

(注4) 授業料、入学科及び検定料収入については、予算段階での見積りより授業料等免除者が増加したこと及び、志願者数・入学者数が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が302百万円少額となっています。

(注5) 附属病院収入については、外来患者数の増加等により、予算金額に比して決算金額が111百万円多額となっています。

(注6) 財産処分収入については、予算段階での見積りより、処分収入が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。

(注7) 雑収入については、主として予算段階での見積りより、寄宿舍料収入、学校財産貸付収入の減等により、予算金額に比して決算金額が132百万円少額となっています。

(注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得増により、予算金額に比して決算金額が294百万円多額となっています。

(注9) 目的積立金取崩については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、168百万円多額となっています。

(注10) 教育研究経費については、執行計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が167百万円少額となっています。

(注11) 診療経費については、翌年度に継続して事業を行うことを想定しているため、予算金額に比して決算金額が、1,000百万円少額となっています。

(注12) 施設整備費については、当初に想定されなかった事象による繰越が生じたため、予算金額に比して決算金額が9百万円少額となっています。

(注13) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2,178百万円多額となっています。

(注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費等の執行計画の見直しにより、予算金額に比して決算金額が158百万円少額となっています。

(注15) 長期借入金償還金については、金利の見直しにより、70百万円少額となっています。